

令和4年 第4回全員協議会会議録

令和4年3月16日 議員控室

○事 件

町長報告事項

- (1) 組織機構の改編等について（総務課）
- (2) 交通事故の発生について（総合病院）

報告事項

- (1) 押印見直しについて

○出席議員（14名）

議長 千葉 隆 君
赤井 睦美 君
横田 喜世志 君
関口 正博 君
倉地 清子 君
牧野 仁 君
斎藤 實 君

副議長 黒島 竹満 君
佐藤 智子 君
大久保 建一 君
宮本 雅晴 君
三澤 公雄 君
安藤 辰行 君
能登谷 正人 君

○欠席議員（0名）

○出席説明員（10名）

町長 岩村 克詔 君
総務課長 竹内 友身 君
総務課長補佐 相木 英典 君
庶務課長 長谷川 信義 君
地域医療連携課参事 加藤 孝子 君

副町長 成田 耕治 君
財務課長 川崎 芳則 君
総合病院事務長 竹内 伸大 君
医事課長 石黒 陽子 君
庶務課長補佐 伊藤 勝 君

○出席事務局職員

事務局長 三澤 聡 君
庶務係長 松田 力 君

事務局次長 成田 真介 君

◎ 開会・議長挨拶

○議長（千葉 隆君） それでは、定例会後の全員協議会ご苦労様です。挨拶は割愛します。

◎ 町長報告事項

○議長（千葉 隆君） 3の町長報告事項、（1）組織機構の改編等について報告をお願いいたします。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 議員の皆さんですね、終わったあとにまた全員協議会を開いていただきありがとうございます。それと議会の最後に私も挨拶させていただきましたけれども、なかなかあの場で言えなかったけれども、特に佐藤議員から言われました国保病院の件についてはですね、早急に院長先生と話しながら解決に向けて取り組んでまいりたいと。

その一つとしては、何としてもこの医療が継続できるようにですね、体制を整えたいということで、もう少し院長先生と話ができれば、早急に皆さんに補正予算が組めるものと思っていますので、ご理解をいただきたいと思います。

またもう一点は、大久保議員さんからありました、これからの建物については浸水区域に建てる場合であっても、その辺を配慮しながらしっかりと建てていかなければならないと認識いたしましたので、これからも庁舎やいろんな移転についてもしっかりと考えながら取り組んでいきたいと思っています。

次に、サーモン推進室の課・室の設置ですけれども、この件についても赤井議員さんから何度も私も横暴という言葉が胸に刺さりながら、本当だと思いながら考えていますので、無理なことは推し進めないように、慎重に皆さんと協議をして進めて行きたいと思っています。

さらに能登谷議員さんからも、町長、あまりいっぺんにやるなよという言葉が言われていますので、その辺あまり私もどちらかといったら一生懸命やりすぎといわれましたので、少し力を抜きながら町民の幸せを願って、頑張ってまいりたいと思っていますので、今後とも改めて議員の皆さんにご支援ご協力、意見をいただければと思います。

それと、お詫びは、この交通事故の発生ですけれども、総合病院の特にこの、雪が多かったということで、交通機関、特に特急等が止まって出張医の送り迎えで事故が起きてしまったということは、開設者または管理者として大変皆さんにご迷惑ご心配かけたことに対して深くお詫びを申し上げます。どうも申し訳ありませんでした。

それでは、サーモン室の設置については補佐のほうから説明させますので、よろしく願いいたします。

○総務課長補佐（相木英典君） 議長、総務課長補佐。

○議長（千葉 隆君） 総務課長補佐。

○総務課長補佐（相木英典君） それでは、総務課より組織機構の改編等についてご報告させていただきます。

町で行うトラウトサーモン養殖事業に係るブランド化等の推進事務については、専門部署の設置及び北海道職員からの派遣によって行う旨のお話をさせていただきましたが、このたび北海道からの派遣職員が決まりましたので、ご報告いたします。

一点目は、サーモン推進室の設置であります。サーモンのブランド化等の事務を推進していくうえで、既存の課の中で行うのではなくて、専門部署を設置し、集中的に事務を行う必要があることから、令和4年4月1日より、サーモン推進室を設置し、事務を執行してまいります。

主な業務は、ニジマス種苗生産施設運営に関する事務。サーモンの加工・流通・販売の促進。サーモンの養殖に関する、関係機関との連携に関する事務などであります。2

二点目は、北海道職員の派遣であります。北海道へは、サーモンのブランド化等の事務について同職員の派遣を要望していたところでありましたが、この度派遣される職員が決定いたしました。ただし、正式な公表は3月25日となりますので、取り扱いについてはよろしく願いいたします。

北海道より派遣される方は、田村敏哉氏 52 歳で、現在、北海道庁地域創生局地域政策課主幹であり、4月1日には道庁内で課長職に昇任し、八雲町に赴任することになります。

八雲町ではサーモン推進室室長の職務を担っていただきます。派遣期間は令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間となっております。

なお、サーモン推進室は室長のほか、専属で配属する係長1名と、そのほか他課らの兼務職員で構成する予定となっております。

報告は以上となります。よろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） それでは、組織機構の改編（1）サーモン推進室の設置と（2）道職員の派遣について、あわせて皆さんからご質問等受けていきたいと思っておりますけれども、何かございますか。

○8番（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8番（三澤公雄君） 産業課の中にできるの。水産課の中にできるの。

○総務課長補佐（相木英典君） 議長、総務課長補佐。

○議長（千葉 隆君） 総務課長補佐。

○総務課長補佐（相木英典君） これはですね、八雲本庁舎内にサーモン推進室と。他の課から分離というか独立させまして。

○8番（三澤公雄君） 新幹線推進室みたいな感じだ。

○総務課長補佐（相木英典君） そのとおりです。

○議長（千葉 隆君） 産業フロアにいくの。

○総務課長補佐（相木英典君） 議長、総務課長補佐。

○議長（千葉 隆君） 総務課長補佐。

○総務課長補佐（相木英典君） 今のところは予定として産業フロアの一角を作ってそこでと考えております。

○議長（千葉 隆君） ほかにございませんか。

○1番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1 番（赤井睦美君） もう町長はすでにこの方に何度かお会いになっているんですか。面接という意味で。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 一回も会っていません。道から自信を持って派遣をされると言われていますので、一回も会わないで決めておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

○1 番（赤井睦美君） はい。

○議長（千葉 隆君） 赤井さん。

○1 番（赤井睦美君） 道の推薦を信じるということでもいいんですけれども、今までも派遣されたというか道からいらした方がいらっしゃりましたけれども、それによって傷付く職員がいたら大変だと思うので、能力がどんなにあっても、大事なものは人間性。周りもちゃんと一緒に育っていくという環境を是非是非作っていただきたいと思います。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） 赤井議員ですね、十分配慮しながらやっていきたいと思っています。ただ今回ですね、課に配属するのではなくて別な室ということで、独自に2年間動くということです。多少その辺は配慮できるのかなと思っていますけれども、その辺、今までの派遣の経験もありますので、十分に配慮しながら取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（千葉 隆君） ほかに。

○8 番（三澤公雄君） 小さいことで。

○議長（千葉 隆君） 三澤さん。

○8 番（三澤公雄君） サーモン推進室って名称は、たとえば今まで事業だとかなんか二海サーモンだとか、もうちょっといろいろあったんだけど、あえてすっきりサーモンとだけにしたのは狙いがあるのでしょうか。

○町長（岩村克詔君） 議長、町長。

○議長（千葉 隆君） 町長。

○町長（岩村克詔君） これについてははっきりわかりやすいということで、サーモン推進室と。この道の派遣は、皆さんご存じのとおり、サーモンの養殖については八雲町のみならず各町がみんな興味を持っているということもあり、ただ、赤井議員さんから何回も質問がありましたので、八雲町のサーモン事業は慎重に取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○8 番（三澤公雄君） 本会議場の勇ましさ。

○議長（千葉 隆君） ほかになければ（2）交通事故の発生についての報告に移りますけれども、よろしいですか。

（「はい」という声あり）

○議長（千葉 隆君） それでは（2）総合病院のご報告をお願いいたします。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） それでは交通事故の発生についてご説明いたします。

資料の1をご覧ください。本件は、当院職員が公務出張中に不注意で起こした交通事故でございます。はじめに事故発生の経緯についてご説明いたします。

当院の診療体制は多数の出張医師の診療応援により維持されているものです。主には札幌市内からの派遣が大多数で、移動手段はJRをはじめとする公共交通機関を利用することになりますが、過日発生しました記録的な大雪、悪天候の影響で交通機関が完全に運休となり、やむを得ず当院公用車による送迎が昼夜問わず頻繁に行われていたものであります。

運転業務の内容ですが、この日も雪の影響でJRが運休し、日直の救急外来対応医師と勤務終了後、札幌市内まで送り届ける業務でございました。運転者は庶務課職員で、同乗者は札幌市内の医療機関から派遣された医師でございます。

事故発生の経過ですが、発生日時は令和4年2月23日水曜日の祝日になります。外来当直業務終了後の17時30分頃、当院を公用車で出発し21時20分ごろ札幌市北区北14条西1丁目付近の交差点にて衝突事故を起こしたものです。

事故の状況は、当方車両の助手席側に相手側車両が衝突するかたちとなり、走行不能のため、翌日当町ヘリッカー搬送となったものです。また相手方車両もフロント部が大破し、走行不能となっております。

原因は当方車両の赤信号見落としによるもので、ドライブレコーダー及び付近の防犯カメラにより明らかとなっております。相手方ですが、札幌市豊平区在住の25歳男性で、運転する車両は同じく札幌市内に所在します、法人所有の車両でございます。勤務中の事故となります。怪我の状況ですが、当方にけがはございませんが、相手方は、足、背中、首の痛みがあり、翌日医療機関を受診してございます。

今後の対応ですが、既に謝罪はしてございますが、改めて本人、会社への謝罪、治療終了後には保険会社を介して示談へ向けた調整に入ることになります。

今回発生した事態を厳粛に受け止めまして、再発防止につきましては、職員への注意喚起は言うまでもありませんが、特に今回のような長距離の運転に際しましては、あらかじめ想定されている場合は、十分な睡眠時間の確保や疲労回復、健康面、体調面でも指導を行い、二度とこのような事態が起こらないように再発防止に努めてまいります。大変、申し訳ございませんでした。

○議長（千葉 隆君） 今、報告がありましたことについて皆さんから特にないですか。

○8番（三澤公雄君） はい。

○議長（千葉 隆君） 三澤君。

○8番（三澤公雄君） 再発防止という観点なら一つ忘れていた点があると思うんですね。22日から悪天候でしたよね。こういったときに交通機関がこの時点で止まっているかわかりませんが、当直なら23日の朝は車が動いてたんじゃないですか。どうやって来られたんですか。この方は。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 前日入りをしているんですけども、札幌市内からタクシーを使って当院まで来ていただいております。

○8番（三澤公雄君） そういうときに今回の例をもし再発防止っていったら、そういったときに当直を外部ではなくて町内でそういうことはできないの。もしくはなんかこれは天気を見たら事前

になにか、そのあとの帰りの困難さとか想像できる時期だったんじゃないのかなって。その点に関しての反省が聞かれないから。また異常気象の中ではどうなのかな。運転を気を付けたらいいのだろうか。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 議長、総合病院庶務課長。

○議長（千葉 隆君） 総合病院庶務課長。

○総合病院庶務課長（長谷川信義君） 当院の医師についても待機とか当直になっていただいておりますけれども、やむなく市内から来ていただいているというところでございます。

○総合病院事務長（竹内伸大君） 委員長、事務長。

○議長（千葉 隆君） 事務長。

○総合病院事務長（竹内伸大君） 少し補足させていただきます。当日、大雪が降って札幌駅を発するJR全便が動かないと。主に線路ですとか保安設備の除雪に相当な負荷がかかっているということで、既に運休していた状況でした。当院としてもこのときに日直業務はお願いしている際に当たっては、当院の医師も、やはり同様に休ませなければならないという観点から、外部から日直、当直、特に週末につきましては、招聘して対応しているところです。

当院としても、この先生がお帰りになられる際、差し支えなければ今夜、八雲町内に泊まっていただけませんか。当然不慮の事態ですので、当院で負担しますという提案もさせていただいたんですが、翌日やはり勤務に支障があり、一定程度長時間の運転でも構わないというご意向を示されたものですからお送りすることとなりました。

それとこの日は私も出勤して、その医師とも対応しておりまして、私の記憶では天候については穏やかになりつつあったというふうに記憶してございます。高速道路は止まってございましたが、どちらかという吹雪や視界不良で止まっていたということではなくて、除雪作業中というような情報もありましたので、一般道を使って、そのときは送迎をいたしました。

送迎が出る前に私も運転していた職員と立ち会いまして、途中途中で休憩を挟んで随時天候の状況を確認しながら安全走行するように促していたんですが、結果としてこのような状況になってしまいました。実際に悪天候の中、直接送るリスクは当然ございまして、この時はほぼ、たった1日ということではなくて、何日も止まっている状況が続きましたので、町内のハイヤー業者さんにも何台かお願いして、送迎をしていたところです。

三澤議員がおっしゃるように、再発防止に努めますということで現在のところ啓発し、対象の確認をするというところから一歩出た対策をお求めかなと私も感じておりまして、この辺については相当注意して啓発をし、また、なにか有効な手立てが講じられるようであれば、速やかに講じてまいりたいと思います。

それと運転手本人の体調の状態ですが、この日はある程度、前日から送っていくことを命ずるかもしれないということは申し上げておりまして、日中についてはなるべく体を休めると。本来であればご自身の自宅の雪かきやそういうこともしたいでしょうけれども、その辺は控えるように体を休めて日中待機していますということも連絡調整しておりましたので、非常に残念だった出来事でございます。改めてお詫びを申し上げたいと思います。

それと長くなって恐縮ですが、今回は赤信号の見落としということでございます。場所は、創成川通り沿いの三車線くらいの道路でございまして、実際に赤信号のまま突っ込んだというよりは、赤信号で直進の矢印が出てございました。運転手としては直進の矢印が出ていますので、そのとき

の解釈としては右折でも構わないという判断を誤ってしてしまったようであります。本来であれば赤で右折するときは右側に矢印が出ますので、それを落ち着いて冷静に判断をすればよかったのですが、とりわけ急いではいなかったものの、そのときは誤った判断をしてしまったということで、結果的に赤信号でございますので、まったく申し開きはできないのですが、私自身の気持ちとしては、そういう解釈もしてしまったのかなと同情はしているところでございます。

いずれにいたしましても、今回、物損ですとか自損の枠を超えて、医師を同乗させていた。それに加えて相手方にもけがを負わせてしまったということは深刻な事態でありますので、相当な反省をもって、これから望んでまいりたいと思います。長くなり恐縮です。よろしくお願いいたします。

○8番（三澤公雄君） 丁寧な説明をありがとうございます。

○議長（千葉 隆君） ほかに。なければこれで報告事項は終わらせていただきます。ありがとうございました。

◎ 報告事項

○議長（千葉 隆君） 4報告事項（1）押印見直しについて、議会事務局から。

○議会事務局次長（成田真介君） 押印見直しについて、3月3日開催の議会運営委員会及び3月10日開催の広報広聴常任委員会において、協議した結果についてご報告いたします。

各種手続きにおける押印見直しについてでございますが、国は、「どうしても残さなければならぬい手続きを除き、速やかに押印を見直す」という考え方のもと、押印の見直しを強力に推進し、地方公共団体においても、国と同様の見直しの取り組みを求めています。

八雲町においても内部手続きも含めて見直しをしたところであり、八雲町議会においても同様に見直しをするものでございます。結果については。

○議長（千葉 隆君） 記載されているように、改めて皆さんのほうで再度確認してください。それで特にこの件についてありませんか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） その都度わからないときには確認しながら対応してほしいと思います。

◎ その他

○議長（千葉 隆君） それではその他、何かありますか。

（「なし」という声あり）

○議長（千葉 隆君） それではお疲れのようでございますので、これで終わらせていただきます。

〔 閉会 午後 1時36分 〕